

前期講座受講生募集

①大河ドラマ『八重の桜』の時代を識(し)る～歴史小説を中心に～						日曜日【1限目】 10:30～12:00	
内容	大河ドラマ『八重の桜』は、戊辰戦争時には断髪・男装して奮戦し、日清・日露戦争時では志願して篤志看護婦になり、幕末・明治の激動を生き抜いた女性が主人公です。八重と同時代を力強く生きた女性について歴史小説を中心に読み解き、大阪との関わりも含めて学びましょう！※第4・5講義は月曜日の午後に関講となりませう。						
1	4/21	大河ドラマ『八重の桜』の時代(新島八重と新島襄の人生)	7	6/2	司馬遼太郎『峠』にみる戊辰戦争と会津		
2	4/28	大河ドラマ『八重の桜』と関西の関わり	8	6/9	学都だった明治期前半の大阪		
3	5/12	網淵謙錠『戊辰落日』にみる戊辰戦争と会津の群像	9	6/16	明治期のファッションと風俗・新島襄の詩歌		
4	5/20	現地講義：大河ドラマのウラ・オモテ	10	6/23	司馬遼太郎『翔ぶがごとく』にみる明治初期の日本		
5		～新島旧邸で触れる八重の心	11	6/30	海音寺朝五郎『江戸開城』『西郷と大久保』にみる戊辰戦争と明治		
6	5/26	網淵謙錠『戊辰落日』にみる戊辰戦争と会津の女性たち	12	7/7	江藤享『海は甦える』『南洲残影』にみる明治日本の矛盾		

②生と死と						【四天王寺大学特別公開講座】		日曜日【2限目】 13:00～14:30	
内容	生命科学や医療技術が飛躍的に発達した今日、この世に生かされていることの意味を忘れてしまいがちです。そこで本講座では、さまざまな切り口から、生と死とについて講義していきます。生と死とが表裏一体であること、死があるからこそ生命(いのち)輝くことをあらためて考えていくことにしましょう。								
1	4/21	仏教における生と死	7	6/9	古代日本人の死生観				
2	4/28	死に向き合って生きる	8	6/16	歓びの歌、哀しみの歌-歌に秘められた想い-				
3	5/12	生殖補助医療と生命倫理	9	6/23	中国思想における死生観				
4	5/19	生命を守るといふこと-妊娠期からの子ども虐待予防の取り組み-	10	6/30	一神教の世界における生と死				
5	5/26	ターミナルケアを考える	11	7/7	新しい時代に賭けた命①: 蚕社の獄の下で-渡辺華山と高野長英-				
6	6/2	人間環境を「まもる」といふこと-絶滅危惧種へのまなざしから-	12	7/14	新しい時代に賭けた命②: 安政の大獄の下で-吉田松陰と橋本左内-				

③最古の官道「竹内街道」の今昔、そして未来						【竹内街道・難波大道完成1400年記念講座】		日曜日【3限目】 15:00～16:30	
内容	竹内街道は堺市の大小路から奈良県明日香村に至る約40kmの街道で、日本書紀に「推古天皇21年(613)難波より京(飛鳥京)に至る大道を置く」と記された我が国最古の国道です。この竹内街道を中心に飛鳥に至る街道の歴史的意義とその未来像について皆様と共に考えてみたいと思います。※第6講義は講師の都合により日程が変更となる場合があります。								
1	5/12	竹内街道文学散歩	4	6/2	百舌鳥・古市古墳群を結んだ竹内街道				
2	5/19	古地図に見る竹内街道	5	6/9	竹内街道と道標・寺院・神社				
3	5/26	現地講義: 「竹内街道周辺探訪」杜本神社～飛鳥戸神社	6	6/16	次世代に活かす竹内街道				

④写真の歴史と、芸術としての自己表現						【大阪芸術大学提携講座】		水曜日【1限目】 10:30～12:00	
内容	写真の歴史を芸術表現の発達史として考察します。写真撮影とその発表を自己表現の観点から考えます。最後に、英語圏の海外へ撮影旅行すると仮定し、写真を通じて現場でのコミュニケーションの仕方を学びます。								
1	4/24	写真が与える豊かな人生	7	6/12	写真の芸術運動				
2	5/8	現像とプリント	8	6/19	モダニズム				
3	5/15	遠近法	9	6/26	ミクストメディア				
4	5/22	記録と記憶	10	7/3	デジタル写真				
5	5/29	表現と身体	11	7/10	撮影時のコミュニケーションのコツを学ぼう				
6	6/5	視覚芸術と写真	12	7/17	撮った写真でコミュニケーションをしよう				

⑤古代エジプト文明への招待-ファラオのお墓とミイラをめぐる旅-						水曜日【2限目】 13:00～14:30			
内容	はるか昔、ナイル川の岸辺に生まれたエジプト文明は、今なお「神秘とロマン」に満ち、ピラミッドはじめ、今に残る古遺跡や建造物の多くが「世界遺産」に名を連ねています。今シリーズでは、「王墓とミイラ」にスポットをあて、古代エジプト人の「来世に対する思い」を探ります。なお、講座では理解を深めるため、関連する「映像資料」をいろいろと見ていただく予定です。※第5・9講義は月曜日に開講します。								
1	5/15	悠久の王朝史をたどる	7	6/26	ファラオの墓造り人				
2	5/22	来世に託した願い: 「永遠の家=お墓」	8	7/3	古代エジプトのミイラ				
3	5/29	王墓/マスタバの出現(初期王朝時代)	9	7/8	ミイラづくりの手法: ヘロドトスの証言				
4	6/5	巨大ピラミッドの謎(古王国時代)	10	7/17	ファラオのミイラを検証する: ユタンカーメン王復讐プロジェクト				
5	6/10	地方豪族の岩窟墓(中王国時代)	11	7/24	「死者の書」を読み解く: 葬儀の手順				
6	6/19	王家の谷の隠された王墓(新王国時代)	12	8/7	古代エジプト人の冥界: 死者の魂の行方				

⑥-百舌鳥・古市古墳群をより深く知るための-世界遺産講座Ⅲ					水曜日【3限目】 15:00~16:30
内容	世界遺産登録が進められている百舌鳥・古市古墳群が、いま、注目されています。二つの巨大古墳群をめぐって、巨大な前方後円墳の意味、古代王権のあり方、大陸との交流、周辺住民との結びつきなど、多彩な話題を取り上げます。 ※第8講義は火曜日に開講となります。				
1	5/8	前方後円墳の発達	7	6/19	百舌鳥・古市古墳群の埴輪づくり
2	5/15	心神天皇	8	6/25	王陵の思想
3	5/22	巨大古墳をつくる	9	7/3	7000年前のかなたから運ばれたガラス碗
4	5/29	仁徳天皇陵古墳前方部の石室と石棺	10	7/10	吉備にもあった巨大古墳
5	6/5	百舌鳥・古市古墳群と鉄	11	7/17	150年前の古市古墳群
6	6/12	大王と軍事	12	7/24	前方後円墳とは何か

⑦信仰と芸能					【学長企画講座】	土曜日【1限目】 10:30~12:00
内容	能も歌舞伎も文楽も、宗教空間と密接に絡みあって育った芸能です。芸能の発生と信仰との関わりを、さまざまな事例から考察します。 ※第6・8講義はゲスト講師の都合により、他の日と入れ替わる可能性があります。					
1	4/20	お盆の期間は?除夜の鐘はなぜ108回?初詣は20世紀に広まった!	7	6/8	生国魂神社と近世の大衆芸能	
2	4/27	エビス信仰と傀儡の芸能 人形浄瑠璃の源流を探る	8	6/15	「ゴスペル・イン・文楽」の衝撃	
3	5/11	来訪神(マレピト)信仰、弁財天信仰と音曲の渡来	9	6/22	相撲と芸能-スポーツは芸能か?	
4	5/18	芸能の聖地「天王寺」「住吉」	10	6/29	天神信仰と「天満」の成立(『菅原伝授手習鑑』)	
5	5/25	一遍上人の踊り念仏から、観阿弥・世阿弥の登場へ	11	7/6	なぜ歌舞伎役者の墓は大阪・中寺町に集中するのか?	
6	6/1	狂言に見る「宗教」	12	7/13	道成寺伝説 進化する「女形」	

⑧今日の世界情勢と日本の経済社会の諸課題					【阪南大学提携講座】	土曜日【2限目】 13:00~14:30
内容	2008年のリーマンショックで大きな打撃を受けた世界経済は、その後も、ギリシャの財政破たん問題に端を発するユーロ危機に直面しました。一方日本では、東日本大震災や円高が強い逆風となり、「失われた20年」ともいわれる長期停滞が依然として続いています。本講座では、経済の視点から今日の世界を展望しつつ、日本の経済社会がかかえる様々な問題について考えます。					
1	4/20	中国の「経済大国」化と日本の課題	7	6/8	臓器移植の問題-経済学による解決策の模索-	
2	4/27	バブルはなぜ生まれるのか?	8	6/15	地域の環境政策を考える	
3	5/11	グローバル化する金融経済-金融システムと主権の相克-	9	6/22	日本社会を担う人材の育成における教育の役割と課題	
4	5/18	金融と暮らし-金融詐欺に遭わないために-	10	6/29	物価と市民生活-日本経済はインフレーション?デフレーション?-	
5	5/25	東南アジアと日本の経済関係の深化	11	7/6	日本の少子化の現状と課題	
6	6/1	ユーロ危機と円高	12	7/13	自動車産業から見た日中の経済関係	

⑨上町学~上町台地の現在・過去・未来~					【追手門学院大学提携講座】	土曜日【3限目】 15:00~16:30
内容	上町台地は、大阪を古都として捉える際に核心となる場所です。そこには、無数の歴史物語が重層化して埋もれています。この講座では、現在の上町台地の背後に潜む、過去の上町台地の歴史物語へと遡りながら、そこから逆に、未来の上町台地がどのような「都」になるべきであるのかということについて語りたと思います。					
1	4/20	上町学概論	7	6/8	上町台地を駆け抜けた一寸法師	
2	4/27	上町台地と文学(1)	8	6/15	阿倍野・帝塚山界限(1)	
3	5/11	上町台地と文学(2)	9	6/22	阿倍野・帝塚山界限(2)	
4	5/18	住吉の今昔	10	6/29	空堀の昔と今	
5	5/25	万葉集の住吉	11	7/6	上町台地のお寺とコミュニティ 寺町からのまちづくり	
6	6/1	生国魂神社と上町台地	12	7/13	古都の未来	

⑩再発見「大阪の知」-懐徳堂の歴史と名言-					【大阪大学21世紀懐徳堂提携講座】	木曜日【イブニング】 19:20~20:50
内容	江戸時代、大阪の町人たちが創設した学問所「懐徳堂」は、約140年にわたり大阪の商業道徳の形成と学術活動の発展に貢献してきました。郷土の誇るべき知的遺産「懐徳堂」について学んでみましょう。					
1	4/25	大阪の知的源流「懐徳堂」	4	6/20	幕末の懐徳堂-並河寒泉-	
2	5/23	懐徳堂の黄金期を「知る」「見る」	5	7/11	重建懐徳堂と泊園書院-道明寺天満宮孔子廟にもふれて-	
3	6/6	懐徳堂の学問を読み解く	6	7/25	よみがえる懐徳堂-デジタルアーカイブによる再現-	

要 項

- 開講場所 羽曳野市立生活文化情報センター（L I Cはびきの）
- 受講資格 **どなたでもお申し込みできます。**居住地・勤務地・年齢は問いません。
介助（点訳）・託児（2歳児～就学前）が必要な方はその旨をお知らせください。
それ以外は、ご相談ください。
- 定 員 60名 ※定員を超えた場合は、講座ごとに**抽選**を行います。
- 日 程 [募集締切] **3月18日(月)必着。**
[受講決定] 3月28日(木)までに受講決定の**通知が届かない場合は、**
至急市民大学までご連絡ください。
[受講手続] 受講料（講座①・②・④～⑨→6,000円 講座③・⑩→3,000円）をそえて
4月1日(月)～7日(日)の間に市民大学までお越しください。
一旦納付された受講料は返金できません。
- そ の 他 定員に達していない講座は**追加募集**を行います。お問い合わせください。
- 単位認定 規定の出席数と所定の課題を修めた場合、単位を修得できます。
合計24単位を修得された場合には「はびきの市民大学学士」の学位記を授与します。
(詳細は市民大学までお問い合わせください)
- 入 学 式 4月13日(土)14:00～16:00[予定]L I CはびきのホールMIにて
- 申込方法 [インターネット] はびきの市民大学ウェブページ
<http://www.city.habikino.lg.jp/lic/shimindaigaku/index.html>
[直接来館] 官製はがきを必ず持参の上お越しください。
[往復はがき] 必要事項(下記参照)を記入して投函してください。

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">往信用ハガキ表面</p> <p style="text-align: center;">往信</p> <p>〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの 内 はびきの市民大学行</p>	<p style="text-align: center;">返信用ハガキ裏面</p> <p style="text-align: center;">印字しますので 無記入でお願い します。</p>
--	---

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">返信</p> <p style="text-align: center;">印字しますので 無記入でお願い します。</p>	<p style="text-align: center;">往信用ハガキ裏面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名(フリガナ) ・性別 ・年齢 ・郵便番号 ・住所 ・電話(FAX)番号 ・希望講座(複数可) <p style="font-size: small;">介助が必要な方はその旨をご記入ください</p>
---	--

ボランティアさん募集中！

「はびきの市民大学」を一緒に支えるボランティアスタッフを募集しています。

- 講座グループ
講座日に、講座の進行補助をしています。
- 記録グループ
「はびきの市民大学」学生通信を年2回発行しています。
- 情報グループ
LICはびきの2階の学習情報室で、来訪者への対応、パンフレットの整理などを担当しています。
- 介助グループ
小さいお子さんをお持ちの方や身体介助の必要な方をサポートしています。

☆希望される時間や曜日はご相談ください。

詳しいお問い合わせ

はびきの市民大学（業務受託者：株式会社みのりの里）〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内
TEL 072-950-5503 FAX 072-950-5650 E-mail shimindaigaku@minorinosato.com

※ご提出いただきました個人情報につきましては、羽曳野市個人情報保護条例（平成12年羽曳野市条例第43号）に基づいて適切に管理いたします。